

ジェンダーから多様性社会を見つめなおす

—「男らしさ」から解き放たれた人間関係のための3つのポイント

政治や経済、スポーツといった様々な分野で男性が女性より優れていると考えられ、女性の権利が侵害されてきました。そのため、ジェンダーの問題は女性に関するものと考えられやすいです。一方で、男性優位の社会形成の中で、強く、賢くなければいけないという男性像から外れることは、男性の生きづらさにつながってきた一面があります。講座では男性や女性がどうあるべきかを決めつける社会のジェンダー観や、性別二元論から作り出された社会構造によって、すべての性の人が、生きづらい社会になっていることを考えます。男らしさ、女らしさに関わらず、全ての人が多様な性を尊重していくために、何を知り、どのように行動していけばいいかを一人一人が学ぶ機会とします。



講 師

ほりかわ しゅうへい
堀川 修平 埼玉大学
ダイバーシティ推進センター 特定プロジェクト研究員

東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。専門は、日本の性教育実践と実践者の歴史・性的マイノリティ運動の歴史。さいたま市男女共同参画推進協議会委員(学識経験者)。主な著書に、『気づく立ちあがる 育てる——日本の性教育史におけるクィアペダゴジー』(エイデル研究所、2022年)。『「日本に性教育はなかった」と言う前に—ブームとバッシングのあいだで考える』(柏書房、2023年)。

参 加 方 法

お申込みはこちら



[https://form.run/
@fukyu--lecture202504](https://form.run/@fukyu--lecture202504)

以下のWebフォーム(QRコード)、電話のどちらかでお申込みください。

電 話 **03-6722-0123**

電話でお申込みの場合は、以下の内容をお知らせください。

- ①代表者名②参加人数③参加形式(会場・オンライン)④電話番号⑤受講案内送付先
⑥障害等による必要な配慮の有無(有の場合)内容

申込締切 会 場 2026年 3月11日(水)正午
オンライン 2026年 3月16日(月)正午

※ご提供いただいた個人情報は、申込手続き以外には使用いたしません。

情報保障・託児を希望される方は、講座申込時に併せて3月5日(木)正午までにお申込みください。

その他

- お申込みを頂いた方にはメールまたはお電話にて受講案内をお知らせいたします。
3月17日(火)までに受講案内が届かない場合は、お手数ですがお問合せください。

フォローアップ企画

時間:2026年3月19日(木)20:10~21:00 会場:東京都人権プラザ セミナールーム

小林美香さんとの トークセッション

男らしさや女らしさにとらわれずに、誰もが自分らしく生きられる社会について、身近な生活や現代社会の問題を中心に、お二人に語り合っていただきます。

こばやし みか
小林 美香 東京造形大学、九州大学非常勤講師

国内外の各種学校、機関、企業で写真やジェンダー表象に関するレクチャー、ワークショップ、研修講座、展覧会を企画するほか、執筆や翻訳を行う。著書に『写真をく読む』(青弓社)、『ジェンダー目線の広告観察』(現代書館)、共著書に『〈妊娠〉アート論 孕む身体を奪取する』(青弓社)、翻訳書にマイア・コベイフ『ジェンダー・クイア私として生きてきた日々』(サウザンブック社)がある。

※フォローアップ企画のみの参加はできません。※オンラインの方もご参加いただけます。

お問合せ

東京都人権プラザ

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1・2F
TEL 03-6722-0123 E-MAIL fukyu3101@tokyo-jinken.or.jp
URL <https://www.tokyo-hrp.jp/>

